

文学部 人文学科 人文学(文学)、および、国際コース・人文学(文学) カリキュラム・マップ

	到達目標	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
<共通>	D. (他者を尊重する公平な姿勢)先行研究と自らの学説を批判的に討論し、自らの意見をより客観的視点から組み立て、他者の意見を尊重する、市民性のある公平な姿勢で論文を作成することができる。 C-2-1. (知識・理解の深化と統合)本コース5つのそれぞれの専門分野の内容に関する深い理解と、学問固有の思考方法、研究手法を獲得し、知識を有機的に総合し、論文を作成することができる。 C-2-2. (独創性)新たな視点から問題提起を行い、それを解決するための方法を提示しながら、論文を作成することができる。 B-3. (文学コース固有の課題)「言葉」に対する自覚的かつ反省的な関わりを通じて、人間存在への理解を深め、自ら選んだテーマに沿って論文を作成することができる。							卒業論文	
<国語学・国文学>	C-1-1. (文献分析力)本コース5つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究手法)本コース5つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、作品解釈、データ分析などの研究手法を正しく身に付けて実践し、必要な史料や文献を収集することができる。 C-1-3. (表現力)学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解)本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究手法を身につけ、それらを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力)外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。			国語学・国文学基礎演習		国語学演習I～II(上代の文献資料)、国語学演習III～IV(中世の文献資料)、国文学演習I～II(中古文学の写本や版本)、国文学演習III～IV(近世文学の写本や版本)、国文学演習V～VI(近現代の文学作品や作家)			
<中国文学>	C-1-1. (文献分析力)本コース5つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究手法)本コース5つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、作品解釈、データ分析などの研究手法を正しく身に付けて実践し、必要な史料や文献を収集することができる。 C-1-3. (表現力)学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解)本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究手法を身につけ、それらを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力)外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。					中国語学演習I～IV(中国語〔文法・音韻・文字など〕とその研究史)、中国文学演習I～VI(中国の詩歌・散文)、中国文学演習VII～XII(中国の戯曲・小説)、中国文学作品演習I～VI(ネイティブ教員による中国文学研究)、中国文学批評演習I～VI(ネイティブ教員による中国文学研究史およびその理論と方法)			
<英語学・英文学>	C-1-1. (文献分析力)本コース5つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究手法)本コース5つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、作品解釈、データ分析などの研究手法を正しく身に付けて実践し、必要な史料や文献を収集することができる。 C-1-3. (表現力)学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解)本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究手法を身につけ、それらを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力)外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。					英語学演習I～II・IV・VI・XI・X(英語統語論・機能論・音声学)、英語学演習II・V・VII・VIII・IX・XII(音韻論・意味論・英語史(ネイティブ教員))、イギリス文学演習I～VI(小説)、イギリス文学演習VII～XII(詩・戯曲)、イギリス文学演習XIII～XX(ネイティブ教員)、アメリカ文学演習I～IV・XI～XII、アメリカ文学演習V～X、XIII～XVII(ネイティブ教員)			
<独文学>	C-1-1. (文献分析力)本コース5つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究手法)本コース5つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、作品解釈、データ分析などの研究手法を正しく身に付けて実践し、必要な史料や文献を収集することができる。 C-1-3. (表現力)学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解)本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究手法を身につけ、それらを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力)外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。					ドイツ語学演習I～II(ドイツ語中上級文法) ドイツ語学演習I～II, V～VI(ドイツ語学研究、主として音韻論、意味論、ネイティブ教員)、ドイツ語学演習III～IV, VII～VIII(ドイツ語学研究、主として統語論、語用論、ネイティブ教員)			
<仏文学>	C-1-1. (文献分析力)本コース5つのそれぞれの専門分野の基本文献を正確に解釈、分析することができる。 C-1-2. (研究手法)本コース5つのそれぞれの専門分野に固有の問題設定を理解し、作品解釈、データ分析などの研究手法を正しく身に付けて実践し、必要な史料や文献を収集することができる。 C-1-3. (表現力)学問的な討論の場で、他者の意見を理解するとともに、自分の意見を明確に表現し、有効なコミュニケーションを取ることができる。 B-2. (専門分野の知識と理解)本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究手法を身につけ、それらを説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力)外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。					フランス文学演習I～IV(仏語圏の近現代文学作品をもちいた原典読解) フランス文学演習V～VIII(中世文学・古典主義文学全般〔小説・戯曲・詩・批評〕)、フランス文学演習IX～XII(18世紀仏文学全般)、フランス文学演習XIII～XVI(19世紀仏文学全般)、フランス文学演習XVII～XX(20-21世紀仏文学全般) ※いずれも原典の読解と研究理論・方法の実践的な演習 フランス文学講義I～VI(フランス人教師による講義、仏文学全般〔小説、戯曲、詩、批評〕対象)、フランス文学講義V～VII(中世及び17世紀仏文学全般)、フランス文学講義VIII～X(18世紀仏文学全般)、フランス文学講義XI-XIII(19世紀仏文学全般)、フランス文学講義XIV-XVI(20-21世紀仏文学全般) フランス語学(仏会話)I～II(ネイティブ教員)、フランス語学(仏作文)I～II(ネイティブ教員) フランス語学講義I～III(ネイティブ教員による仏語文法・音韻・語彙)、フランス語学演習I～II(ネイティブ教員による仏語文法・音韻・語彙)			
<国際コース共通>	B-4. (国際コース固有の課題)英語により日本の人文学を学び、外国語による思考力を鍛え、日本社会や国際社会の諸問題を表現することができる。					国際コースの学生はInternational Humanities I～X(英語による日本学の授業)各2単位を8単位修得する。この8単位のうち4単位までは人文学課題探求演習I～IIIに代えて修得することができる。また、国際コースの学生は専門80単位のうち40単位以上をF科目(外国語により実施される科目)またはF/J科目(授業の一部で外国語を用いて実施される科目)で修得する(F科目、F/J科目であるかどうかは各授業のシラバスに表示される)。卒業論文(10単位)は外国語で作成された場合、F科目とする。また、外国語文献資料や外国語による研究成果を幅広く参照して作成された卒業論文の単位は、所定の申請書を提出した上でF/J科目に認定されることがある。 International Humanities I～II: Introduction to Japanese History, III～IV: Introduction to Japanese Literature and Language, V～VI: Introduction to Japanese Art and Visual Culture, VII～VIII: Introduction to Japanese Religions and Philosophy, IX～X: Analyzing International Scholarship on Japan) 人文学課題探求演習I～II(長期の留学、海外での活動を単位として認める授業)			
<共通>	B-2. (専門分野の知識と理解)本コース5つのそれぞれの専門分野の基礎知識、その領域に固有の問題設定や研究手法を身につけ、それらを説明できる。 B-1. (人文学の広範な知識と理解)人文学全般の多様な専門分野の基礎知識を身につけ、人文学固有の思考や方法を説明できる。 C-1-4. (外国語運用能力)外国語の運用能力を高め、自らの考えを表現できる。また、自らが所属する専門分野が扱わない外国語を学び、言語の多様なあり方を説明できる。 A-1. (主体的な学び)深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。 A-2. (協働)多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。		人文学基礎I	人文学基礎II	人文学 I～IV	博物館に関する科目、図書館に関する科目、地域福祉の比較社会学、コミュニティの構造、情報機器操作入門、西洋古典学講義I～IV、ジャーナリズム論I～II、現代史入門I～II International Humanities I～II: Introduction to Japanese History, III～IV: Introduction to Japanese Literature and Language, V～VI: Introduction to Japanese Art and Visual Culture, VII～VIII: Introduction to Japanese Religions and Philosophy, IX～X: Analyzing International Scholarship on Japan) <古典語>ギリシャ語 I～II、ラテン語 I～II、サンスクリット I～II、漢文 I～II <外国語>英語 I～IV、ドイツ語初歩 I～II、フランス語初歩 I～II、中国語初歩 I～II、朝鮮語初歩 I～II、ドイツ語 I～IV、フランス語 I～IV、中国語 I～IV、朝鮮語 I～IV、アラビア語I～II 言語文化科目(Intensive English、学術英語、専門英語、初修外国語) 国際コースの学生は言語文化科目は17単位が必修(国際コース以外の学生は12単位)、17単位のうち第一外国語(英語)は12単位、第二外国語は5単位が必修。 文系ディシプリン科目、理系ディシプリン科目、総合科目 サイバーセキュリティ基礎論 高年次基幹教育科目 課題協学科目、基幹教育セミナー、健康スポーツ科目			